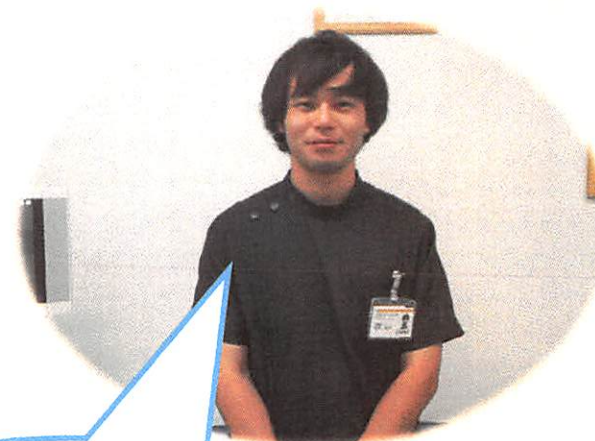
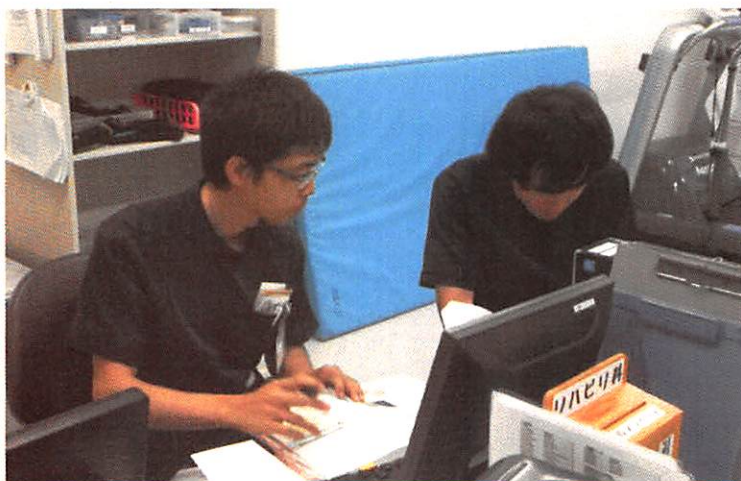


心臓リハビリテーションNEWS

心臓リハビリテーション作業療法士の紹介・学習の取り組み

昨年4月より心臓リハビリテーションチームに作業療法士を1名迎え、今年6月からさらに作業療法士1名増員し、現在理学療法士3名・作業療法士2名で活動しております。2015年6月の開設以来、在籍している心臓リハビリテーション指導士（以下心リハ指導士）が中心となって、心臓の解剖・生理学、心電図や心エコーの診かた、カテーテル治療、循環器薬剤、栄養学、運動療法、腎疾患・呼吸器疾患など多方面にわたって理解・実践できるよう、学習計画を立てて、スタッフ育成を行っています（写真下）。開設時2名だった心リハ指導士（医師・主任理学療法士）が、現在4名となり、作業療法士も心リハ指導士を目指して日々学習しています。



6年目作業療法士の清野恭平です。自己研鑽を重ねて少しでも早く心臓リハビリテーションの作業療法士として役に立っていきたいと考えています。

作業療法士が関わることで、心臓疾患患者のADL（食事、排せつなどの日常生活動作）やIADL（家事、外出など）訓練の充実、更には復職にむけた作業活動の安全性確認や、再発予防に対する作業内容の工夫がより具体的に行えるようになりました。現在作業療法士が取り組んでいることは、11月の全日本民医連循環器懇話会、12月の日本心臓リハビリテーション学会東北支部地方会にて全国に向けて発表する予定です。今後更なる活躍が期待されます。